



平成 22 年 10 月 15 日

大阪科学・大学記者クラブ加盟各社様

公立大学法人大阪市立大学

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

URL:<http://www.osaka-cu.ac.jp>

**大阪市立大学創立 130 周年記念  
特別講演会『初代学長 恒藤恭の人と思想  
—芥川龍之介との交流を中心に—』を開催します**

大阪市立大学学術情報総合センターは、平成 22 年 10 月 30 日（土）に、特別講演会『初代学長 恒藤恭の人と思想—芥川龍之介との交流を中心に—』を開催します。

大阪市立大学の初代学長である恒藤恭と、作家・芥川龍之介とは、旧制第一高等学校時代からの親友で、その交友は、二人の学問や文学に大きな影響を与えたといわれています。二人の交流を手掛かりに、恒藤恭が「時代」と対峙する学問と思想を育んだ若き日の苦闘の跡をたどります。

また、本学が所蔵する芥川龍之介から恒藤恭に宛てた直筆書簡を、画像データベースをもちいて解説します。関心のある方のご参加をお待ちしています。

〔恒藤 恭（旧姓 井川）〕

大阪市立大学初代学長。戦後の新制大学創設（昭和 24 年）の困難な時代にあって、高邁な学識と卓抜な手腕で本学の礎を築きました。日本の法哲学の確立に大きな足跡を残すとともに、昭和 8 年の京大滝川事件では学問の自由のために奮闘した人物としても知られています。

開催日時	平成 22 年 10 月 30 日（土） 13 時 30 分～15 時（開場：13 時）
会場	大阪市立大学 学術情報総合センター1 階 文化交流室 大阪市住吉区杉本 3-3-138 (JR 阪和線「杉本町（大阪市立大学前）」駅下車 徒歩約 5 分)
内容	(1) 講演（13 時 30 分～14 時 20 分） 『初代学長 恒藤恭の人と思想—芥川龍之介との交流を中心に—』 広川禎秀（大阪市立大学名誉教授） (2) 映像と解説（14 時 20 分～14 時 45 分） 『芥川龍之介からの恒藤恭宛て書簡の紹介』 大阪市立大学所蔵の芥川の直筆書簡の一部を画像データベースにより紹介 田中ひとみ（大阪市立大学恒藤記念室研究員） (3) 質疑応答（14 時 45 分～15 時）
参加方法等	入場無料、申込み不要（先着 84 名）
問合せ先	大阪市立大学学術情報総合センター運営課 電話：06-6605-3217 FAX：06-6605-3218 (平日（月～金）8 時 45 分～17 時 15 分)

# 初代学長 恒藤恭の人と思想

## —芥川龍之介との交流を中心に—



大阪市立大学  
130周年記念

【学術情報総合センター特別講演会】

### ◆ 広川 禎秀 大阪市立大学名誉教授

恒藤と芥川との交流を手掛かりに、戦争が謳歌され、自由が抑圧された時代に、恒藤が「時代」と対峙する学問と思想をいかにはぐくんだかをたどります。

## 芥川龍之介からの恒藤恭宛て書簡の紹介

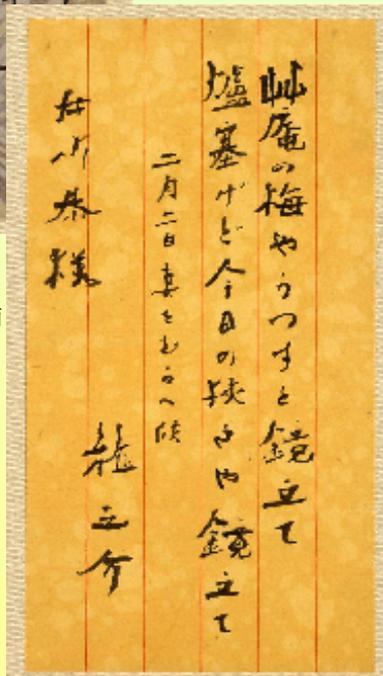
### ◆ 田中 ひとみ 大阪市立大学恒藤記念室研究員

恒藤と芥川は膨大な手紙をやりとりしています。芥川の手紙には、ときおり自作の水彩画や詩などがしたためられ、多彩な芸術的能力をかいまみることができます。このような手紙類をスライドで紹介し、ふたりの交流をたどります。

大阪市立大学の初代学長 恒藤恭(1888-1967)は日本を代表する法学者の一人です。若き日に恒藤(旧姓・井川)は、芥川龍之介と無二の親友となり、交流は芥川の死まで続きました。芥川は、1913(大正2)年7月、恒藤に宛てた書簡で「自分は一高生活の記憶はすべて消滅しても君と一緒にみた事を忘却することは決してないだらうと思ふ」と書いています。一高とは、東京大学の前身校の一つ、第一高等学校のことで、ふたりはそこで同級生でした。



芥川が結婚した日の恒藤宛書簡  
1918(大正7)年 恒藤記念室蔵



### 日時

2010年10月30日(土)

13:30~15:00(開場13:00)

### 会場

大阪市立大学  
学術情報総合センター1階  
文化交流室

申込みは不要です



主催 : 大阪市立大学学術情報総合センター 恒藤記念室  
tel: 06-6605-3211 fax: 06-6605-3218